

1400名は 動労大改革運動の先頭に立つ

本日の臨大で、労農連帯一合理化粉碎！ 『水本』拒否の戦闘的方針を！

第三二回臨時地本大会に結集された、代議員・傍聴者の皆さん！そして、職場で大会の動向を注目するすべての組合員の皆さん！

まず、なによりも、本日の大会は、中央本部・革マル派およびそれに追隨する一部反動分子による臨大反撃策動をもの見事に粉碎し、開催されたことを互いに確認しよう。そして大会は、千葉地本はいかなる迫害、反動、弾圧がふりそそぐとも、一四〇〇組合員の鋼のごとき団結をもってはねかえし、動労運動の変質を許さず、革マル派のセクト的組合私物化を排し、動労運動の戦闘的再生をかねとる一大決意の宣言の場としてかちとられつつあること。さらに、動労四万七千組合員は今こそ「動労改革運動」に決起すべき時であると全国に檄を發する決定的意義をもつものであることを確認しよう。

大改革の方針

今や、動労組合員であるならばだれしもが持つ動労中央の「三里塚敵対」「貨物安定宣言」そして「水本運動」の誤まてる路線に対する批判、危惧、疑念は、「動労はいつたいこれからどうなるのだ」という声としてこんにち全国に満ちみちている。

大会は、かかる動労中央の誤まてる路線を正し、動労の闘いの伝統を復権させるものとして、全国の組合員とともに千葉地本は起つ決意と方針を鮮明にうち出さなければならぬ。つまり、「三里塚敵対」方針を糾弾し、三里塚を先頭とする全国の農漁民、住民との連帯をかちとり、「貨物安定宣言」を廃棄し、せまりくる国鉄大合理化に對決し、組合運動を水本運動にきりちぢめたセクト私物化、運動の変質を許さず、動労四万七千名の生活と権利を守り、闘いぬく路線をうちたて、その正義の旗のもとに結束し前進することである。

この路線こそが動労の変質≡労働組合ならざる労働組合に転落するか否かの危機から動労の戦闘的伝統と団結を守りぬく唯一の道であり、確実に勝利する道であるのだ。

臨大方針を四万七千のものへ

われわれは、この道が外にあつては日本帝国主義の侵略と反動攻撃がさかまくなか、組織内にあつては動労内革マルおよびそれに追隨する一部反動分子のデマとペテンによつて組合員をひきまわす運動の破壊と危機意識をただひたすら「千葉憎し」の一点で、千葉地本排除≡組織破壊攻撃をやみくもに策動する事態のなかにあつて決して平坦なものではないことを認識している。だがしかし、幾多の歴史がそうであつたように、正しい路線のもとに労働者が決断し、団結し、決起するならば勝利は掌中にかくとくできるのだ。

まさしくわれわれが闘つて勝利してきたマル生粉砕闘争、船橋事故を契機とした反合、運転保安闘争が実証しているではないか。

大会に結集された代議員・傍聴者の皆さん。職場の皆さん！

本日の大会の成功をもつて、動労千葉地本の旗のもと、一四〇〇組合員の団結をより強固にし、千葉地本排除≡組織破壊攻撃粉碎、動労の変質≡私物化阻止、一切の反動を粉碎し動労の戦闘的伝統の継承・発展にむけ大胆に勝利にむかつて前進しよう。

第32回臨時地本大会
スロガン

- ◆ 1400組合員の強固な団結で
動労の変質一私物化阻止、一切の反動を粉碎し、
動労の戦闘的伝統を継承。発展させよう！
- ◆ 反対同盟との労農連帯を一層強め、
三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう。
- ◆ 「貨物安定宣言」を廃棄し、
せまりくる大合理化攻撃に對決しよう。
- ◆ 「水本事件の真相を究明する会」から脱会し、
動労のセクト的引きまわしに断を下そう！